

発行人
北海道商工連盟・同協同組合
札幌市中央区北4条12丁目ほくろうビル
電話(代)211-4162 FAX 233-2120
HP <http://www.dousyokouren.com>
E-mail: info@dousyokouren.com

毎月10日発行 / 1部130円(年1,500円)
(毎月の購読料は会費に含まれています)



あなたの立場で問題を解決するコンサルタントです



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、商工連盟ができて50周年という記念すべき年でしたが、新たな半世紀に向けてこれからも「よろず相談」機能を發揮すべく、精いっぱい頑張っていくつもりでございます。引き続きよろしくご指導ご鞭撻(べんたつ)をお願いする次第でございます。

今年は、何といっても7月の参議院選挙に注目しています。昨年10月の総選挙で、自民・公明両党が過半数を割り込み少数与党としてスタートせざるを得ませんでした。そのため野党を取り込み、政策ごとに綱渡り状態で進まざるを得なくなっており、今年7月の参議院選挙でも敗北すれば、

年頭のご挨拶

北海道商工連盟会長(元参議院議員)

峰崎直樹

文字通り自公政権の終焉(しゅうえん)となることは間違いないかもしれません。1955年以来70年、一時

か、政党関係者の注目するところでしょう。

期を除いて政権党として君臨してきた自民党がどうなるのか、時代の変化にどう対応していけるの

われわれ中小企業団体にとっ
て、日本経済の停滞が重くのしかかっています。新しい時代の産業はどう展開していくのか、

祈らずにはおられません。それと同時に、どう労働力不足に対応できるのか、少子化社会における人材確保という課題は、中小企業にとって実に切実な課題となつて迫ってきています。

日本経済全体の競争力が劣化し続けており、一人当たり国内総生産(GDP)で見ても、韓国や台湾の後塵(こうじん)を拝しており、どのように経済力をつけていけるのか、これからの課題であることは間違いありません。

さらに、地球環境問題の解決も大きな課題となつてわれわれに迫ってきていることも確かでしょう。北海道という、未来に可能性を秘めた地域社会の中で、その個性を生かした街づくりをリードしていける力を、共に創り上げていけるようお互いに頑張ろうではありませんか。

今年1年の皆さま方のご多幸とご健勝を祈念して年頭のごあいさつに代えさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



2025年 元旦

しっかりと見つめて経営をしていく必要があることは言うまでもありません。北海道においては、千歳にラピダスが稼働し始めるとのこと、情報通信産業の基盤となる超性能半導体が成果を上げることが

謹んで新春のお慶びを申し上げます

中小企業成長へ政策転換を



北海道商工連盟協同組合
理事長(参議院議員)

勝 部 賢 志

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨秋の解散総選挙では、温かなご支援をいただき、まことにありがとうございました。

2024年は政治とカネ、裏金問題が大きく問われた一年でした。企業には厳格な税務申告を求め、インボイス制度まで導入しておきながら自分たちは不当に不法に大金を懐に入れていたことが道義的に許しがたいのはもちろんですが、この問題の本質は、莫大な裏金オモテ金が政策や予算を歪めていることです。少子化対策、貧困対策、教育、研究費、農林水産業。いずれもカネにならない分野として冷遇されてきました。中小企業政策もそのひとつだと思います。



「中小企業が淘汰されないから日本の生産性は上がらない」という議論が盛んですが、私には大口献金企業に都合のいい言説に聞こえてなりません。1989年には企業の世界時価総額ランキングトップ50社の内、32社を日本企業が占めていましたが、いま

はトヨタ自動車一社が留まっているだけです。既存の大企業、大口献金企業や業界ばかりを守る政策が新産業・新興企業の成長を阻害し、生産性を低迷させたと指摘されています。

一方、地方の経済と暮らしを支え、社会的安定を担っているのは中小企業です。淘汰に任せているのは地方衰退に拍車がかかりかねません。昨年は物価高騰に加え、働き手不足が加速、最低賃金の大幅な引き上げも行われました。野党に力を与えて頂いた国会において、人件費やコストの適切な価格転化・適正取引のための環境整備や事業継続、生産性向上、新事業創出への支援拡充を進めます。また社会保険料の企業負担増の議論が始まりましたが

中小企業成長の足かせにしない観点で、議論をリードしていきます。

中小企業「淘汰」論を乗り越え、今年を中小企業成長への政策転換の年にしたいとの思いを強くしています。本年もどうぞよろしく願います。

いざという時 機能しますか !! ビルの安心・安全

- ・警報が鳴りますか
- ・スプリンクラーが作動しますか
- ・消火器はどこにありますか

消防設備の機能定期点検(法令)おまかせ下さい



有限会社 セーフシステムメンテナンス

〒062-0053 札幌市豊平区月寒東2条17丁目1-45

TEL 011-855-6006 fax 011-855-6086

消防設備法定点検、各種法定点検の

ご相談、受け賜っております。

令和7年

知事年頭所感



北海道知事

鈴木直道

新年明けましておめでとうございませう。皆様とともに新たな年を迎えられたことを、大変うれしく思います。

昨年を振り返りますと、能登半島地震や各地での大雨など全国で大規模災害が相次ぎ、宮崎県沖で起きた地震では、初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。また、秋には、道内の農場で高病原性鳥インフルエーザが発生し、防疫対策に取り組むとともに、物価の高騰による影響が長期化しており、本道経済の活性化を図るなど、道民の皆様様の命と暮らしを守る思いを一層強くする年となりました。

こうした中、本道のさらなる飛



躍に向けた歩みが着実に進みました。国家プロジェクトである次世代半導体の製造拠点はEUV露光装置が搬入され、着実に

整備が進むとともに、北海道・札幌「GX金融・資産運用特区」が国に認められ、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを有する北海道が、国内外から二層注目されようとしています。

私自身、ニューヨーク州を訪問し、州政府関係機関と連携の枠組みを構築したところであり、先進地の知見も活かしてGX・DX産業の集積を目指します。

また、念願が叶い「日高山脈襟裳十勝国立公園」が誕生しました。多様な生態系が残る自然は世界に誇る財産であり、ヒグマとのあつれきの低減を図りながら、豊かな自然を守り、その魅力を広く発信してまいります。

観光入込客数がコロナ禍前の水準を回復しつつある中、本道経済の発展に資する観光振興が図られるよう、宿泊税の導入に向け、検討を進めてきました。引き続き、関係の皆様様の声を丁寧に向き合っていきます。

そのほかにも、全国最多1000人以上の地域おこし協力隊の活動や、パリオリンピッ

ク・パリンピックにおける本道ゆかりの選手の活躍、アンテナショップ「どさんこプラザ」の過去最高売上への更新、北海道米「そらきり」のデビューなどがありました。

昨年、新たに策定した北海道総合計画では、北海道の力が日本そして世界を変えていく、そして、一人ひとりが豊かで安心して暮らせる地域づくりを進めていくことを、めざす姿として掲げ、この実現に向けた取組の中で、様々な分野で北海道の未来を切り拓く可能性や輝きを実感することができたと思っています。

新しい年は、この計画を基盤としながら、道民の皆様様の暮らしを守り、豊かな未来を築いていくため、大きな一歩を踏み出す年にしたいと考えています。

防災体制の確立など命と暮らしを守る取組を最優先としながら、産業振興により地域経済を活性化し、さらには、我が国の食料・経済安全保障において役割を果たしてまいります。国内最大の食料供給地域として、農林水産業の持続的な発展に取り組むとともに、次世代半導体製造のパイロットライン稼働を大きな弾みとし、再生可能エネルギーや広大

な大地、冷涼な気候など多彩な強みを最大限に活かして、AIなどのデジタル関連をはじめとする新たな産業や人、投資の呼び込みを加速させてまいります。

そして、社会全体で子どもを支える「こどもまんなか社会」の実現への取組や、地域を支える人材の確保・育成を進め、さらに、戦後80年となる本年、一刻の猶予も許されない北方領土問題の解決に向け、返還要求運動に粘り強く取り組みます。

本年は、道庁赤れんが庁舎のリニューアルオープン、知床世界自然遺産の登録20周年、ウポポイの50周年、北海道で57年ぶりの全国菓子博、北海道豊かな海づくり大会の初開催など、様々な節目の年でもあります。

こうした機会も捉え、本道の自然、文化、産業などを国内外に発信し、人口減少をはじめ直面する課題を乗り越えていけるよう北海道の創生を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、輝かしい未来に向けた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

新年のご挨拶



札幌市長

秋 元 克 広

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

私が市長に就任し、今年で丸十年を迎えますが、私が描く札幌の未来の実現に向け、これまでの間、全力で市政運営を行ってきました。

昨年は、子ども医療費助成の対象拡大など負担軽減策に取り組み、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めました。また、共生社会の実現に向け、条例制定に係る検討や障がいのある方が働きながらICTスキルを身につける機会の提供にも取り組むほか、複雑化・高度化する地域や行政の課題解決を目的とした官民連携窓口の開設など、心豊かで明るい札幌にするための取組を進めてまいりました。

六月には、GX産業の集積と金融機能の強化・集積を目指す特区提案が国に認められるなど、脱炭素社会の実現や新たな産業の発展・創出に向け、大きく動き出した一年となりました。

本年は、水素エネルギーの普及を一層推進するため、定置式の水素ステーションを中央区に設置するほか、燃料電池を導入した集客交流施設の整備に向けた準備を進め「災害に強く環境にやさしいモデル街区」を形成してまいります。

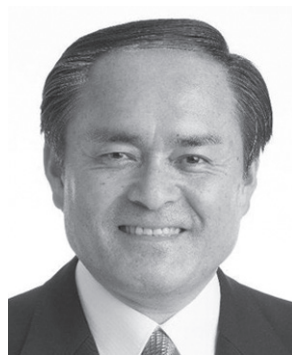
また、北海道新幹線の札幌延伸を見据え、街のリニューアルが進んでいることから、利便性や回遊性が高く、環境負荷の少ない新たな公共交通の実現を目指した取組を進めてまいります。

このほか、一月下旬には、アジア

初のeスポーツ世界大会が開催予定であり、世界最高峰の大会によつて市民の感動を呼び起こすことが期待されます。

札幌も人口減少という一大局面を迎え、加えて資材価格の高騰など多くの課題に直面しておりますが、持続可能で希望あるまちとして次の世代に引き継いでい

希望の持てる明るい年に

全国中小企業団体連合会
会長(前参議院議員)

吉 田 忠 智

あけましておめでとうございます。

昨年も、北海道商工連盟の皆様におかれましては、依然として厳しい状況にある中小企業の皆様への温かいご支援に感謝申し上げます。

衆議院選挙における全中連関係議員へのご支援と取り組みにお礼申し上げます。

岸田前首相の退陣表明を受け

くため、経済の持続的な発展にも取り組んでまいります。

今年も、市民の皆様と対話を重ね、共に札幌の未来を築いていくため、全力で取り組んでまいります。本年が皆様にとって、素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

全国中小企業団体連合会
会長(前参議院議員)

吉 田 忠 智

て史上最多の9人が立候補した自由民主党総裁選挙を勝ち抜いた石破茂氏は、10月1日の臨時国会での首班指名を受けたのち、10月9日衆議院解散、15日公示、27日投開票という史上最短の解散総選挙を断行しました。疑似政権交代によるご祝儀相場を期待しての解散だったと思います

が、石破総理の発言のブレや裏金問題に対する国民の怒り、物価

高や負担増に対する国民の不満等により、立憲民主党や国民民主党は議席を増やし、自由民主党と公明党は過半数割れとなりました。残念ながら、野党の足並みが揃わず、特別国会において石破総理が再指名され、不安定な少数与党となりました。これまでも、自公政権は、軍事大国化と防衛増税、憲法改悪や財政規律を無視した補正予算等の悪政を強行してきました。野党共闘を追求しながら、こうした悪政の転換を成し遂げなければなりません。

そして、本年7月の参議院選挙において与野党逆転を果たし、そう遠くない時期に想定される解散総選挙において政権交代を実現しなければなりません。私も、参議院大分選挙区で勝利し、私に与えられた役割と責任を果たす決意です。一層のご支援をお願いします。

全中連としましても、原材料費の高騰、事業承継、人件費の増加と人材確保、インボイス制度への対応、ゼロゼロ融資返済、デジタル改革やAIへの対応など多くの課題があります。こうした課題の解決・前進に向けての皆様方の一層のご支援と取り組み強化をお願いします。

本年が会員・ご家族の皆様方にとりまして、明るい希望の持て

新年のご挨拶



函館商工連盟理事長

若 杉 充 宏

る年になりますよう祈念申し上げます。

令和7年の新春を迎え、会員の皆様におかれましては心より新年のお慶びを申し上げます。また当連盟の活動に深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

北海道商工連盟は50周年の大きな節目を迎えました。結成時の総会宣言を読み返しますと、50年前の中小企業を取り巻く環境は、現在と何も変わっていない様に思われ、大企業中心の政治の仕組みに真つ向から立ち向かう強い団結の意思が感じ取れました。

偶然にも同じ数字で、昨年第

50回衆議院議員総選挙が行われ、道商工連の推薦議員を十二選挙区全てに議員を置くことができました。これにより各種政策提言もより実効性が上がりましょう。

年収の壁改正が議論されておりますが、賃金単価が上がれば同じ時間労働しても収入は上がるので「壁」を超えないために自動的に労働時間を少なくする調整をします。金額としての103万円の壁は、配偶者控除額の引上げが38万円になったのが平成7年(平成6年税制改正)から続いており、平成7年の北

海道における最低賃金586円から約倍である令和6年の1010円になる間、実に29年間103万が壁として変更されずにありました。最低賃金の上昇と共に段階的に基準を上げるべきところ、30年近く変えなかった税収基準を、一気には正すれば数兆円の減税になるのは当然の理屈で、今までの増税分で補う

新春のご挨拶



苫小牧商工連盟理事長

沖 田 龍 児

新年あけましておめでとうございます。謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

北海道商工連盟会員・役職員並びに関係者の皆様には、当連盟の活動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、昨年は私も連盟の最

しかありません。人手不足が深刻化している中小企業にとって、30年変わらぬ壁がある以上、賃金アップは人手不足解消に関しては逆効果です。早急に現在の状況に則した改正を行って貰いたいものです。

商工連盟の役割の柱である相互扶助においては、異業種の会員同士の情報交流や商取引の橋

渡し的な役割を堅持し、加えて産業や科学また経済における速い進化や変化による、複雑な情報交差に対応すべく、会員に現実性のある情報や対策案の提供を発信してまいります。

会員の皆様には従前同様、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

中小義業者の置かれている厳しい現状を再認識するものでした。昨年は、世界で「選挙の一年」でもありました。わが国でも衆議院選挙が行われ、北海道では道商工連の推薦する12名全員が当選するなど、15年ぶりに与野党が逆転することができました。

温暖化による自然災害・国際紛争等、また、株・円相場等、世界の動向が私たちの日常生活に直結する近年、それら全てが格差の拡大に繋がるもので、弱者・中小企業がしわ寄せを受ける構図は一向に改善されず、むしろ広がっています。

今回の選挙結果で、国会がそうした問題解決のために、真剣な議論の場になることを、大いに期待するところです。

そのために、「あなたの立場で問題を解決するコンサルタント」北海道商工連盟が果たすべき役割はより重要なものとなります。

会員はもとより、全道の中小事業者、そこに働く人・ご家族

の思いを、国の政策に届けていただく活動にも引き続き取り組んでいただくをお願いし、地方組織である私ども苫小牧商工連盟も、思いを新たに運営に取り組んでまいりますので、本年も皆様のお力添えを賜りますようお願い

い申し上げます。
結びに、本年が道商工連盟に結集する皆様、関係する皆様にとりまして、希望に満ちた明るい年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「2025年問題」と「2040年問題」

人材難で在宅介護が危機

2025年には団塊の世代が75歳以上になり、社会保障費の増加や介護人材の不足が深刻化すると予測されています。さらに、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上になり、さらなる高齢化と人口減少が懸念されています。12月7日、厚労省は「地域医療構想」案を公表しましたが、そこでも2040年を見据えた在宅医療強化の方向を示しています。

在宅ケアの現状では、介護人材の不足が深刻であり、特にホームヘルパーの不足が問題になっています。ヘルパー不足に直撃されるのは、高齢者世帯の約半数を占める1人暮らしなど、家族に頼れない人たちです。特別養老

人ホーム(特養)の人居基準は要介護3以上で、利用料も高くなつたことで、特養に入れない人も出てきました。生活に困窮する、1人暮らしの高齢者の住まいの選択肢が乏しいことは、いまや大きな問題になっています。

自宅ではか死ねない人たちが確実に増え、苦勞続きの一生を終えるときに、誰にも見取られない、誰もオムツを替えてくれない状態で、この世を去っていく状況でいいのか、という問いかけは見過ごすことができません。

11月23日、東京で開かれた第20回在宅医療推進フォーラム(国立長寿医療研究センター/在宅医療助成勇美記念財団主催)では、パネリストの「介護の仕

事は地域の中で働ける仕事。他の職種より6万〜7万円低い給与を人並みにすれば、地域の若い人たちが介護の仕事に希望を持てるようになり、人は戻ってくる」という言葉に、会場からはひととき大きな拍手が湧いたそうです。

これに対して今後10年、テクノロジーの進化が期待されます。特に超音波検査装置は在宅でも肺炎や骨折などの診断ができるコンパクトな機器が開発されています。また、団塊の世代より若い人はPCやスマホになじんでいるので、シンプルな通信アプリで利用できる「オンライン診療」が一般化するでしょう。患者の意識も変化しており、自己決定意識の高い団塊世代が増えることで、医療や介護の質に対する要求が高まっています。今後は、テクノロジーを活用しつつ、人材と財源の確保が重要です。(青)

タクシーの利用は会員企業を!!



昭和交通
011-640-2400

皆様のご利用を

お待ちしております



フジ交通
011-631-6000



鈴蘭交通
011-631-6000



日北交通
011-888-8686

安全、快適な会員企業のタクシーをご利用ください

2025 年の予定

■ 1 月

17 日：1995 年の「阪神・淡路大震災」から 30 年
20 日：アメリカで 2024 年 11 月に当選したトランプ大統領が就任

■ 3 月

22 日：国内のラジオ放送が 100 周年
24 日：マイナ運転免許証が運用開始予定

■ 4 月

13 日～ 10 月 13 日：「2025 大阪・関西万博」開催

■ 6 月

・日本最大のクルーズ船「飛鳥 III」が就航予定

■ 7 月

7 月 22 日までに都議会議員選挙実施
7 月 28 日までに第 27 回参議院議員選挙実施

■ 8 月

・広島長崎に原爆投下から 80 年
15 日：日本の太平洋戦争終戦敗戦から 80 年

■ 9 月

13 日～ 21 日：世界陸上が東京で開催
14 日～ 11 月 30 日：長崎で第 40 回国民文化祭
第 25 回全国障害者芸術・文化祭

28 日～ 10 月 8 日：滋賀県で第 79 回国民スポーツ大会

25 日～ 27 日に第 24 回全国障害者スポーツ大会
通年型アイスリンク東京辰巳アイスアリーナ開業

■ 10 月

14 日：マイクロソフト社の OS、Windows10 と Office 2016 の延長サポートが終了

■ 11 月

15 ～ 26 日：「第 25 回夏季デフリンピック東京で開催

■ 12 月

2018 年に打ち上げた日本と欧州共同開発の水星探査機ベピ・コロンボが水星の周回軌道へ

■ 日付が未定なもの

・G7 サミット 2025 カナダは西部アルバータ州カナナスキで開催

・G20 サミット 2025 が南アフリカ共和国で開催

・「国連気候変動枠組み条約第 30 回締約国会議 (COP30)」がブラジルのアマゾン地域にある北部ベレンで開催

已年の出来事 (明治以降)

■ 1869 明治 2 年

箱館戦争が終結：戊辰戦争の終結
アメリカ合衆国で金融危機「暗黒の金曜日」発生
スエズ運河、開通

■ 1881 明治 14 年

ベルリンで世界初の電気路面電車が走行

■ 1893 明治 26 年

ハワイ王国の滅亡
君が代が文部省より制定
初の婦人参政権がニュージーランドで成立

■ 1905 明治 38 年

日露戦争：ポーツマス条約締結
夏目漱石が『吾輩は猫である』を連載開始
アインシュタインが特殊相対性理論を発表
シベリア鉄道が開通

■ 1917 大正 6 年

ロシア革命でロマノフ朝滅亡
理化学研究所創設

■ 1929 昭和 4 年

世界恐慌「ブラック・サズデー」

■ 1941 昭和 16 年

日ソ中立条約成立

アメリカが、世界初となるテレビ放送を開始
太平洋戦争勃発

■ 1953 昭和 28 年

NHK が日本で初のテレビジョン本放送開始

■ 1965 昭和 40 年

プロ野球第 1 回ドラフト会議が行われる

■ 1977 昭和 52 年

日米漁業協定調印。200 海里協定。
日本初の静止気象衛星「ひまわり」打ち上げ
王選手がホームラン世界記録を達成
ダッカ日航機ハイジャック事件発生

■ 1989 平成 1 年

昭和天皇が崩御、元号「平成」が始まる
北京で天安門事件が起きる
ベルリンの壁崩壊

■ 2001 平成 13 年

中央省庁 1 府 22 省庁から 1 府 12 省庁に再編
アメリカ同時多発テロ事件が発生

■ 2013 平成 25 年

2020 年の夏季オリンピックの東京開催決定

新年あけまして おめでとうございます

北海道商工連盟

会 長	峰 崎 直 樹	元参議院議員
副 会 長	徳 永 工 リ	参議院議員
同 上	勝 部 賢 志	参議院議員
同 上	坂 本 孝 司	札幌工業(株) 代表取締役
同 上	若 杉 充 宏	函館商工連盟 理事長
同 上	沖 田 龍 児	苫小牧商工連盟 理事長
同 上	井 上 博 己	北海道ユニオンサービス(株) 代表取締役社長
同 上	藤 原 広 昭	藤原広昭事務所・札幌市議会議員
専務理事	高 柳 薫	北海道商工連盟
事務局	山 木 晶	北海道商工連盟

北海道商工連盟協同組合

理 事 長	勝 部 賢 志	参議院議員
副 理 事 長	峰 崎 直 樹	元参議院議員
同 上	徳 永 工 リ	参議院議員
同 上	井 上 博 己	北海道ユニオンサービス(株) 代表取締役社長
同 上	藤 原 広 昭	藤原広昭事務所・札幌市議会議員
専務理事	高 柳 薫	北海道商工連盟協同組合
参 事	辻 村 祐 一	辻村祐一社会保険労務士事務所 所長
事務局	山 木 晶	北海道商工連盟協同組合



がん保険は割安な集団料率を適用可能

がん保険に
できることを、
もっと。



詳細は「契約概要」等をご確認ください。

WINGSダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)



株式会社 トーア

〒001-0034 札幌市北区北34条西4丁目1-11トーア札幌ビル
TEL:0120-25-2225 FAX:011-717-2235

■引受保険会社

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック 札幌総合支社
〒060-0001 札幌市中央区北1条西6-1-2アーバンネット札幌ビル5階
TEL:011-221-2641 FAX:011-233-4445